

## CU三多摩ニュース No.43

2019. 2. 20 編集人 宮本 一

コミュニティユニオン東京三多摩協議会

〒185-0034 国分寺市光町 1-40-12

北多摩西教育会館内

Fax 042-571-1166 / 090-2247-1166

Email cu3tama@abeam.ocn.ne.jp



### CU三多摩、盛大に「新春のつどい」

#### 「解決金、役立てて」と申し出る仲間も

今年の「新春のつどい」は例年になく文化行事を楽しみ、300人組織目指すスタートとしての組合員交流の場になりました。1月26日（土）、北多摩西教育会館には50人を超える組合員、来賓が臨席され新年の交流会にふさわしい取り組みでした。

冒頭、佐藤委員長は「これまで100件超す労働相談に対応してきたが、それだけ困っている方が多いという事。今後も10数人の相談員が、一人ひとりに寄り添い駆け込み寺の役割を果たしていこう。三多摩300人を早期達成しよう」と呼びかけました。

来賓として本部・高島副委員長、三多摩労連・菅原副議長、白根顧問弁護士、三多摩法律事務所の村松弁護士、桜保険・中村所長、原のり子日本共産党都議、東京土建の三多摩各支部からも激励の挨拶をいただきました。

#### 相談解決した仲間もそれぞれが思いを語り

労働相談を解決した組合員のCさんが「裁判費用などに役立ててほしい」と解決金の一部を寄付する

と発言するなど、4人の組合員がそれぞれの思いを語りました。また、この日は三鷹のコーラスグループの歌声、前進座女優の舞も花を添えました。

### CU三多摩お花見交流会

3月30日（土）11時、小金井公園西側

会費1,000円（相談中の方無料）

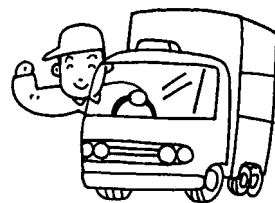
◆CUのぼり旗がありますよ。

### 業務委託で働くAさん—早期解決

#### 実態は労働者、社長が団交受け入れ

Aさんは業務委託契約で会社指定業者の小荷物宅配業務に従事。長時間労働の上、本来の契約にはない荷積み前の商品整理にも1~2時間の労働をさせられた事で、解約を申出ました。ところが会社は、配送用の軽トラックのリース期間が残っていると

して、未払いリース料の支払いを求めてきました。Aさんは、①リース料の支払いの停止②求人内容と異なる報酬差額の支払いを求めたい、と組合に相談。組合は、Aさんの働き方は、形式は業務委託契約だが、実態は労働基準法上の労働者であり、リース代も支払い義務はないと主張できると判断。しかし、使用者側との主張が食い違い、長期戦になることが予想されました。



#### リース料問題を優先解決することを提案

組合は早期解決を目指す立場で「労働者性」の問題は保留し、業務委託を前提としてリース代と報酬の差額、契約にない荷積みの準備作業に対する対価について解決を求める交渉をする事を提案。

第1回目、会社はリース料について、Aさんも同意の上で契約したものであり、契約に基づき残りの金額を支払うのは当然と主張しました。組合側は、委託契約書やリース契約書の内容が会社に都合よく、労働者側に一方的に不利なこと、実態として軽トラックはAさんの退社後も会社に引き継がれるので、残余期間の全額をAさんに求めなければ

ならないほど、会社側に実損はないと主張。

交渉の過程でAさんの意向も確認し、リース料問題を優先解決するため、他の要求額を引き下げた再提案をして解決を求めました。

会社は翌日、リース代については了解する。報酬差額について要求額の再調整を求めたい旨を回答。組合はAさんと、最大の要求が確保できた事を確認し、差額等については会社の意向も踏まえて解決金での合意解決としました。

## 清瀬東久留米分会「第2回総会」

### 現在41名、50名めざす

2月9日(土)午後6時から清瀬平和と労働会館で、第2回総会を開催しました。総会参加者は12名で、多摩稲城分会から尼崎さんや4月から高校生になる未来の組合員の青年も参加しました。



大江副分会長の開会のあいさつで始まり、この日の午後に相談された方がCUに加盟し、分会組合員数が41名になったことなどが報告をされました。

寺川分会長が組合員数を増やそうとの檄を飛ばし、CU三多摩協議会の総会まで50名にすることが確認されました。

引き続き、小野塚書記長の経過・運動方針・予算案が提案され、拍手で確認されました。その後なごやかに交流会が行われ、午後8時30分に無事終了しました。小野塚 記

**無料**

社会福祉法人清瀬わかば会

第2回仲間・生活・仕事展

場所 清瀬コミュニティプラザ2階

(清瀬駅からバス利用)

日時 2月28日(木)～3月3日(日)

## 退職時の年休消化、職場で初

### 組合のアドバイス、本人が自力解決

A病院に勤務する看護師のBさん、退職するにあたり「年休残日数すべてを消化したいが、病院関係者で年休消化してやめた人はいない」と組合に相談。組合は、年休取得について、病院には関係書類のコピー、地域労組に加入していることも伝えて申告することをアドバイス。結果、「病院では初めての事」となる要望の年休消化はすべて認められました。

本人の頑張りを含め、自力解決となったことを喜びたいと思います。

**Bさん談** 相談に乗っていただきありがとうございました。有給残を消化できることになりました。地域労組に入っていることを話して、組合役員からいただいた例文のコピーも見せたので、それもよかったかも。お世話になりました。

## 東京民報に紹介された福田さん

東京民報人欄のコピー



三多摩相談員の福田かづこさんが、東京民報(週一回発行)の人欄で紹介されました。CU三多摩協議会の相談員となったきっかけやパワハラや契約不履行などの相談のことなどについて取材。

福田さんは組合の宣伝になればよいのですが、と言っています。

### 第31回多喜二祭へ

2019年3月3日13:30開演

座・高円寺(JR高円寺駅北口)

1500円

記念講演、ピアノ演奏、池内さおり講演